

記者各位

昭和62年9月4日

本田技研工業株式会社

“ ‘88年度ホンダF-1、F3000レース体制について”

本田技研工業㈱は、'88年度F-1世界選手権シリーズ参加体制とF3000レースの参加方針について決定した。

< '88年度F-1参加体制 >

ホンダは、従来までのウィリアムズ・グランプリ・エンジニアリング社にかわるマクラーレン・インターナショナル社、及び'87年度から協力関係にあるチームロータス・インターナショナル社の2社にF-1エンジンを供給することを決定した。

ホンダとウィリアムズは過去4年間にわたる協力体制の中で、'86年度コンストラクターズ・チャンピオンを獲得、本年度も現在までのシリーズランキングで、コンストラクターズ、ドライバーズともトップにあるなど、極めて高い実績を残している。両者は、現在のF-1レースの頂点に立ち得た、との認識のもと、レギュレーション変更など、今後の環境変化を踏まえて夫々が、挑戦的状況に身をおき、新たなチャレンジをすることに合意した。

そのチャレンジの一環としてホンダはマクラーレンとの間に、将来に向けた新たな関係を築いていくことになる。

また2年目に入るロータスとの協力関係についても、来年はその成果が実る年としていきたい。

尚、ドライバーは、マクラーレンについてはアラン・プロスト、及びアイルトン・セナ、ロータスについてはネルソン・ピケ、及び中嶋悟を起用することを決定している。

ホンダは今回の決定を新たな時代へのスタートと位置付けるとともに今後の近代的F-1の発展に寄与したいと考えている。

< F 3000について >

ホンダは、世界最高の場で究極的な技術の追求を行う F - 1 の他に、広くモータースポーツを支える目的で国内及び欧州の F 3000 シリーズにも参加している。

F 3000 エンジン は、1986 年 以来 2 年間のレース参加を通じ、改良、熟成が進められて来たが、エンジンベースとして完成の域に達した。

従って、ホンダとしての参加は今年をもって終了とし、'88 年度からは、国内は無限、欧州はエンジンデベロップメント社が、独自に、F 3000 エンジンの改良、開発を行うと同時に市広い供給を行うことに決定した。(エンジン名称：無限製は「MUGEN」、ED 社製は「^{ジャッド}JUDD」)

尚、ED 社は この F 3000 エンジン をベースとして、引続き 米国インディ 500 マイルレース (= USA カート・シリーズ=) に参加するとともに、'88 年度の F - 1 レース用 3.5ℓ 自然吸気エンジンの開発、供給を予定している。

以上